

令和2年度（2020年度） 健康くまもと21推進会議 議事録要旨

日 時：令和3年3月25日（木）

場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面により開催

出 席：34名（五十音順・敬称略）

一井治代、一安 勝、井手州子、大森久光、岡崎淳司、織田智行、甲斐征男、工藤壽子、
小山登代子、佐藤成美、澤村裕美子、下雅意 清、高岡辰生、谷口千代子、田上啓祐、
田村 仁、寺岡和廣、中島花江、長濱一弘、中村智美、中村好郎、中山秀樹、濱田泰之、
林田久美子、平川恵子、船田裕介、牧尾幸美、丸山 隆、三浦 勲、三浦弘文、道永忠幸、
南 久則、宮崎留美子、宮本格尚

次 第

- 1 部会報告 (1) 食の安全安心・食育部会 (2) 歯科保健部会 (3) がん部会
- 2 議事 議題 第2次健康くまもと21基本計画の進捗状況について
- 3 取り組み紹介 熊本健康企業会、健康ポイント事業、校区健康カルテ、乳がん検診視触診の
廃止、胃がんリスク検査の実施

議事概要

議題 第2次熊本くまもと21基本計画の進捗状況について

承認：34名 不承認：0名

○議題についてのご意見

【井出委員（熊本県看護協会）】

がん検診受診率や特定健診の受診率などが増加傾向であるのは、啓発のための広報も含め
様々な取り組みをされた結果であり、またそのおかげで市民の健康づくりに対する意識も上がってきた
ものと思います。妊娠中の飲酒や喫煙、受動喫煙等が改善傾向であり、さらに未成年者の喫煙も
減少しています。これも妊婦への指導や学校での啓発活動のおかげです。子供の健康は、妊娠時
から大きく影響し、大人へと続きます。両親への指導や、子供たちに健康づくりに関心を持ってもらう
ための活動の継続が必須です。

＜事務局（健康づくり推進課）＞

健康くまもと21基本計画に基づき各種検診の受診率向上、適正飲酒の普及啓発、禁煙の支
援、受動喫煙防止など様々な対策を推進いたします。

また、妊娠期、乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージにおいて、心身機能の維持
及び向上につながる対策に取り組めます。

【佐藤委員（熊本県歯科衛生士会）】

歯科項目（38）～（42）はすべて改善しており安心しました。生活習慣病、糖尿病や小児の
肥満などの悪化項目については、カミング30のさらなる啓発など、歯科からアプローチできる啓発には
協力していきたいと思えます。

＜事務局（健康づくり推進課）＞

歯科保健の成果指標は、改善しておりますが、歯と口腔の健康は、基礎的かつ重要な役割を果た
しており、全身の健康につながることから、生活習慣病の影響について、更なる啓発や情報提供等を
図ってまいります。

【谷口委員（熊本市地域包括支援センター連絡協議会）】

コロナ禍は身体、精神面に大きな影響を与えていますが、反面、健康への意識は高まったと感じます。今後の進捗管理では、コロナ禍の影響も含めた考察が必要かと思います。校区健康カルテに、健康アプリを利用されている方のデータも入れたらどうでしょうか？

<事務局（健康づくり推進課）>

新型コロナウイルス感染防止対策による、市民の健康への影響を注視し、外出自粛等に伴う健康悪化の防止と、体力・健康維持への健康支援を行います。

また、「熊本市校区健康カルテ」は、校区の健康課題を把握し、校区住民の健診や要介護者等のデータ、人口資源等を可視化することで、校区の特色や健康課題を考えるきっかけとして活用いただくことを目指しています。

ご意見の健康アプリは健康づくりの動機づけのツールとして有効であるため、地域でもさらにご活用いただけるよう、健康カルテ改訂版（第2版）において、その登録者数を掲載させていただきます。

【織田委員（熊本産業保健総合支援センター）】

第2次健康くまもと21基本計画の進捗管理についての表において、「昨年との比較」とあるが、基本目標等においては、どの値と比較したのか不明である。また、成果指標 番号3「脳血管疾患・虚血性疾患の年齢調整死亡率の減少」では3年前の実績値であるため、「前回比較」が妥当ではないか。表中 成果指標 番号6「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少」とP.9 グラフ「成果指標6 メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」で、予備ぐんの漢字が異なるため、統一したほうが良いのではないか。

<事務局（健康づくり推進課）>

「昨年との比較」と記載しておりましたが、指標によっては、把握できる直近の数値でありました。そのため、ご指摘の成果指標 番号3「脳血管疾患・虚血性疾患の年齢調整死亡率の減少」は平成29年度が直近値となります。次回からは、「昨年との比較」を「前回比較」または、「直近の数値」である旨の表現に変更いたします。

ご指摘の成果指標 番号6の予備軍については、予備群に訂正させていただきます。

【中村委員（熊本市私立幼稚園・認定こども園協会）】

成果指標を見ると前回と最新の実績値を比較して成果が上がっていない項目があるようですが、新型コロナの影響などの要因があるのだと思います。運動やスポーツをする子どもの減少については、一例としては、公園の使い方について改善したい思いがあります。禁止事項を増やすのではなく、多くの子どもが多種の遊びに親しめる公園にできないものかと思います。

<事務局（健康づくり推進課）>

把握している成果指標は、令和元年度以前の数値であるため、来年度以降の新型コロナの影響に注視し、その行動変容に伴う健康悪化の防止と、体力・健康維持への健康支援を行います。

また、公園の利用については、各公園管理者に情報提供を行うなど、関係課への働きかけを行ってまいります。

【小山委員（熊本市民生委員児童委員協議会）】

女性や若者の自殺の増加は大きな社会問題となっています。「孤独・孤立」に対策が必要であり、民間団体も含め相談支援の強化を図っていただきたい。

<事務局（こころの健康センター、精神保健福祉室）>

自殺者数の減少は、こころの健康づくりの指標としております。自殺対策として令和元年度より「熊本市自殺対策総合計画」を策定し、多くの部署、関係機関と連携し事業を実施しております。今後とも SNS 相談の拡充や、ゲートキーパー育成講座、包括相談会、自殺対策連絡協議会などを通じ、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に取り組んでまいります。

【林田委員（熊本市スポーツ推進委員協議会）】

昨年と比較すると悪化が多いので、やはり運動習慣をつけないといけない。そのためには、モデル事業として総合型スポーツクラブに予算を出して行った方が良いと思います。文部科学省が推進しているクラブも少しは潤うと思います。

<事務局（スポーツ振興課）>

総合型地域スポーツクラブ等スポーツ団体に対しては、スポーツ事業継続支援補助金の申請サポートをおこない、コロナ禍における事業継続について支援してまいりました。今後も、国等の動向に注視しながら、スポーツ団体等への支援施策に関する情報収集に努めるとともに、所要の支援を行ってまいります。

【丸山委員（㈱熊本地方卸売市場）】

成果指標が悪化している項目の割合が、半数を超えていることから、大きく数値が悪化している項目に関しては、なぜその様になったのか原因をつきとめ、より直接的な対処策をご検討いただければと思います。

<事務局（健康づくり推進課）>

悪化している指標については、今回、議題として提案しました現状と課題、今後の対策について、関係団体の皆様と情報共有を図り、健康くまもと 2.1 基本計画に基づき着実に実施してまいります。

【下雅意委員（東区代表）】

基本目標：全 2 項目ともに前回調査比「改善」となっておりますが、目標値（令和 5 年度）に達成する目標は？

成果目標：25 項目（55%）の半数以上が悪化という、コロナ禍の終息が非常に厳しい状況下で、基本目標同様に目標達成できる目論見はあるのでしょうか？提案されている「今後の対策」に期待をしますが、総花的な展開ではなく、効果大な対策から優先順位を付けて実施されてはどうでしょうか。

<事務局（健康づくり推進課）>

基本目標の成果指標は、前回と比較して改善しているものの、令和 5 年度の目標を達成するためには、これまで以上の積極的な取り組みが必要と認識しております。また、成果指標の改善に向けては、今後の対策について、それぞれの施策の効果を見極めながら、着実に実施してまいります。

【中島委員（熊本産業保健総合支援センター）】

小学 5 年男子の肥満傾向とスポーツ習慣による体力の低下や、飲酒について、コロナ後の令和 2 年度、3 年度はさらに悪化しないか心配です。

<事務局（健康づくり推進課）>

新型コロナウイルス感染防止対策による、市民の健康への影響を注視し、外出自粛等に伴う健康悪化の防止と、体力・健康維持への健康支援をおこないます。

○部会報告についてのご意見

【中島委員（西区代表）】

歯科部会、令和2年度の取組で、歯みがき習慣アプリ：ポケモスマイルの周知はWeb慣れた子どもたちにはとても良いと思う。小学校1年生フッ化物洗口をしてきたが、今年度子どもたちから「むし歯が1本もできませんでした。これからもがんばります」とうれしいお礼の文書をいただきました。口腔ケアの意識ができたと思います。

【中村委員（熊本市私立幼稚園・認定こども園協会）】

食の安心安全は幼児にとって重要な問題なので、この健康くまもと21推進会議事務局からいただいた幅広い取り組みやデータの数々は大変参考になります。成果や課題について、本園（第2さくら体育幼稚園）はじめ幼稚園協会に発信していきます。歯科部会の取り組みであるフッ化物洗口について、令和3年度から本園でも取り組みますので、その成果と課題について情報発信していこうと考えています。

【佐藤委員（熊本県歯科衛生士会）】

今年度は想定外のコロナ禍もあり、思うように活動できない現状があります。その中で各団体検討され、取り組まれていることが分かりました。本会も現状においてできる活動を更に検討していきたいと思えます。

【谷口委員（熊本市地域包括支援センター連絡協議会）】

食は全ての病気につながります。高齢者にとっても食育は大事ですが、どのように周知していくかコロナ禍では難しいと思えます。歯科と介護予防もつながりが大きいと思えます。介護予防につながることの周知が必要と思っています。

【下雅意委員（東区代表）】

今後も全く新しいタイプのウイルス感染症や大規模な自然災害等も予想されますので、今回の経験を活かして今後の熊本市単独や市民との協働活動等の活動展開方法等に活かしていただければと思います。

【甲斐委員（北区代表）】

悪化した原因は、新型コロナウイルスによる3密をさける外出の減少と思う。

【井出委員（熊本県看護協会）】

報告内容を読ませていただき、改めて有識者、関係機関、多数の専門団体や、5区の市民代表の委員がそれぞれの立場で市民の健康づくりを考え、意見を述べられているのがわかります。

○取り組み事例についてのご意見

【長濱委員（崇城大学生物生命学部応用微生物工学科）】

本学も経営は健康経営です。「げんきアップくまもと」も活用しています。

【中村委員（熊本市私立幼稚園・認定こども園協会）】

くまもと健康協議会、熊本健康アプリなど新しい試みで、これから成果が上がっていくことだろうと思います。健康づくりや健康な体は本人のためであり、健康を実感し続けられることが自己称賛、自分の宝になるので特典など不要な気がします。

【佐藤委員（熊本県歯科衛生士会）】

各取り組みを拝見し、市民の日常での健康への意識を高めること、若い時にリスクを見つけ対応できることへの努力が伝わります。歯科の条例も平成2年4月1日から施行され、会としてもコロナ禍においてできる市民への健康づくりの啓発として、子どものむし歯予防動画を作成したところですが、これからも、協力し、他職種連携に務めていきたいと思っています。

【小山委員（熊本市民生委員児童委員協議会）】

校区健康カルテについては、関係機関、各種団体との連携・共働により校区の課題を捉えることが出来ることはよく、P D C A サイクル等を用いて振りかえりを行い次の行動に繋げていただきたいと思います。

【下雅意委員（東区代表）】

各取り組み共にすばらしい取り組みだと思います。社会を支えている「働き盛り世代」が対象となる「くまもと健康企業会」は特に。今後更にネットワークが拡大され、事業所内だけでなく、従業員の方々が家庭に戻り、家族へ拡大し「健康家族」づくりの推進者となっていただき、ご近所、町内、校区、地域等へ拡大していけばと思います。

熊本健康アプリも地域、利用者、発信内容等々の拡大性等があり、今後の大きな「玉」ではないかと思っています。

【井出委員（熊本県看護協会）】

熊本市校区健康カルテについて

校区単位の健康まちづくりの取組は、健康等校区ごとの特徴を知ることが出来関係機関や団体がその特徴に応じた取組ができ、当協会としても参考になります。

健康ポイント事業について

健康に関して健康チェック、ウォーキング等気軽に身近に無料で個人管理できるものです。働き盛りの30歳代～50歳代が多いのは良いことだと思いますが、男性が女性に比べ少ない、また18歳～20歳代の若者が少ないのが気になります。働き盛りの男性と18歳からの若者にも健康づくりに関心を持ってもらうための広報が必要かと思っています。令和3年度には、近隣市町村にも拡大されることと紙運用も取り入れられるのはスマホの苦手な高齢者にとっても良い取組だと思います。

【林田委員（熊本市スポーツ推進委員協議会）】

げんきアップくまもとのアプリを立ち上げないと取得（歩数）できないが、コカ・コーラのコークオンは勝手にカウントしてくれるので、もっと同じように簡単にし、協賛企業のサービスは、もっと身近な気軽に使えるサービスがあればいいと思います。

○その他ご意見

【長濱委員（崇城大学生物生命学部応用微生物工学科）】

コロナ禍で、お家時間が増えたのを機に、食生活習慣改善できるといいですね。（朝食欠食とか）運動スポーツ指標を維持出来たら、健康に近づける気がします。

【宮本委員（市歯科医師会）】

この一年、コロナの影響があったので、歯科医師会の活動を徐々に元の状態に戻していきたい。

【井出委員（熊本県看護協会）】

令和2年度は、コロナ禍での健康に関する活動は計画通りには実施できなかったと見受けるが、それぞれオンラインや郵送、ホームページ、チラシ等の工夫をして実施されており参考になりました。

【工藤委員（熊本市薬剤師会）】

がん医療研修会を定期的を開催し、がんの予防及び薬物療法におけるきめ細かいサポートを目指し、行っております。

【丸山委員（㈱熊本地方卸売市場）】

熊本地震の影響を大きく受けた平成28年度同様、令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響が成果指標に色濃く出ると想定されていると思われます。来年度の進捗管理にあたっては、これを踏まえた評価の方法等について少し検討してみたいかでしょうか。

【平川委員（熊本市食生活改善推進員協議会）】

コロナ禍で食育（調理実習）が出来ていないけれど、レシピ等を配布しています。みなさん、調理実習ができるのを心待ちにくださっているので早くできるように考えていきたいです。

【甲斐委員（北区代表）】

武蔵第一町内では、令和3年度より町内会行事の1つとして週2回ラジオ体操を公園で行っている。目的は、健康推進と高齢者の安全把握をしている。

【中村委員（熊本市私立幼稚園・認定こども園協会）】

データに基づく貴重な資料を届けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。私にできることは限られていますが、本園の子どもたちの健康づくり、職員の健康づくりに努めていきます。2年前に私が始めた健康づくりレクリエーションのミニバレーやバドミントンは新型コロナの影響で中断していますが、また始めたいと考えています。

【岡崎委員（熊本市PTA協議会）】

熊本市PTA協議会の常任理事会（月一開催）において食の安全安心や歯科8020推進について報告や各小中学校への周知を行い、健康くまもと21推進会議資料の発表を行いました。今後も子ども達や保護者への健康について周知していきたいと思っております。

【澤村委員（熊本県栄養士会）】

今後の推進会議委員の皆様、又関係団体等の担当者の皆様の活動、活躍に期待し、栄養士会としても最善を尽くしていきたいと思っております。

【下雅意委員（東区代表）】

熊本健康アプリは、小学生、中学生にも参加できるようなソフトにし、体育などの授業にも取り入れ、熊本の将来を担う「次世代」の健康づくり、健康意識の醸成等に活用できるのではないのでしょうか。また、同様に高齢者にも拡大すれば、熊本市の「SDGs 取り組み」、目指す“市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、安全安心な「上質な生活都市」”にもつながるのではないのでしょうか。

【小山委員（熊本市民生委員児童委員協議会）】

資料の簡素化を検討いただければ助かります。

【高岡委員（熊本市食品衛生協会）】

コロナ禍の中、食のバランスが非常に崩れてきていると思われる。特に学校給食は休みも多くなり、食事も不規則になっているのではと心配している。

【谷口委員（熊本市地域包括支援センター連絡協議会）】

特に高齢者が閉じこもりならず、介護予防を継続するために、行政でテレビによる体操など紹介されています。視聴されている方も増えていると思います。包括支援センターに行政から DVD が配付されますので、来所された方や団体に配付しています。各包括でも独自に作成したチラシなどを配付しています。

【牧尾委員（西区代表）】

コロナ禍で、まだまだこのような状況が続いていくと思いますが、様々な方からの意見をもとに、この会議が市民の役に立てるよう、私も努力していきたいと思っています。